



デュピュイトラン拘縮

四谷メディカルキューブ
手の外科チーム

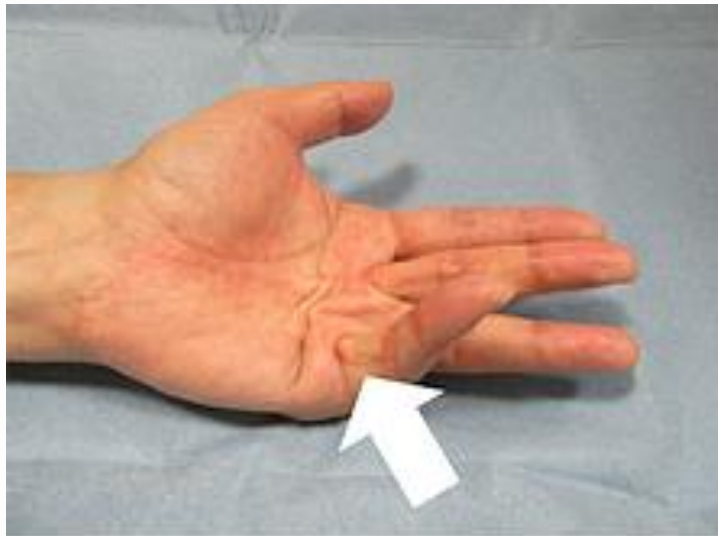
デュピュイトラン拘縮 手術説明

- 1.デュピュイトラン拘縮について
- 2.予定している手術と方法
- 3.治療の流れ
- 4.手術前の検査・麻酔について
- 5.手術当日の流れ
- 6.入院に関すること
- 7.手術後の経過について
- 8.手のリハビリについて
- 9.手術によって起こりうる症状について
- 10.手術によって期待される効果と限界について

1. デュピュイトラン拘縮について

- 症状

手のひらから指にかけて硬結（しこりやこぶのようなもの）ができ、皮膚がつれて指が徐々にのばしにくくなります。環指や小指に多くみられますが、他の指や足の裏にできることもあります。痛みはあまりありません。



硬結



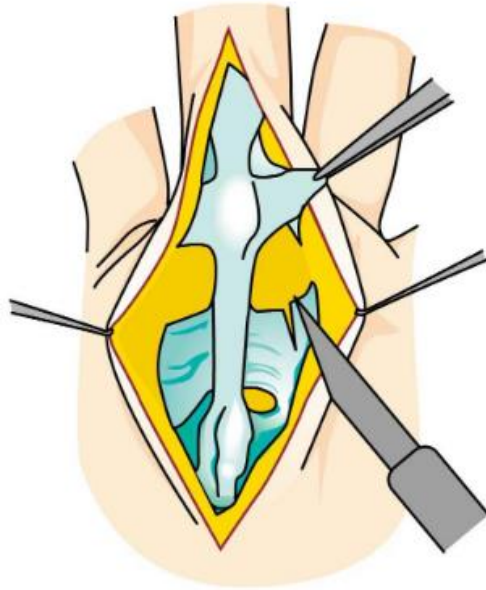
2. 予定をしている手術と方法

腱膜切離術 + 局所皮弁・植皮

指が伸ばしにくくなり、日常生活に支障をきたすようになると、変性した腱膜を切る手術を行います。手術後にはリハビリを行います。



術前



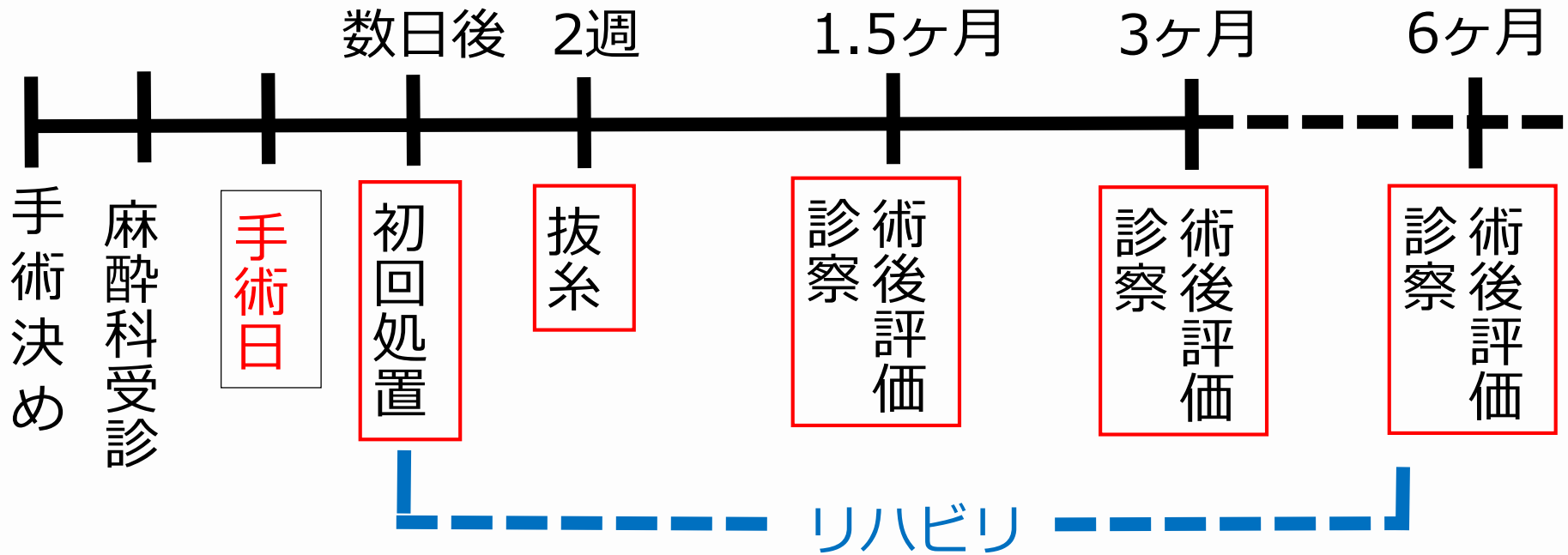
手術



術後

日本手外科学会
手外科シリーズ出典

3.治療の流れ（来院していただく日）



- 手術数日後に初回処置、約2週後に抜糸があります。
- リハビリは初回処置から開始となり、術後の状態に応じてリハビリ通院があります。

初回処置日と抜糸日は、主治医が担当しないことがあります。

4. 手術前の検査・麻酔について

■ 必要な検査

術前検査があります。

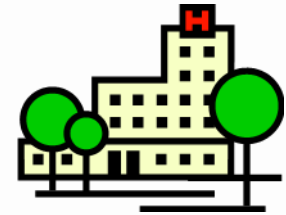


詳細については
麻酔科受診時に
麻酔科医師より
説明があります

■ 麻酔法

全身麻酔(静脈麻酔)+末梢神経ブロック

5. 手術当日の流れ



必ず指示された時間に1Fの受付にお越しくください。

担当者がご案内いたします。

- 当日は食事・水分摂取に制限があります。
- 血液のサラサラにするお薬をお飲みの方は、事前に休薬する必要があるためお知らせ下さい。

6.入院に関すること

- 手術当日の入院で**1泊2日**の予定です。
- 手術中、ご家族は宿泊室でお待ちください。
- 当院は全て個室対応となります。
- 入院費用は、3割負担概算にて**12-13万円(1指)**、**16-17万円(2-3指)**、**20-21万円(4指)**程度かかります。



※手術で実際に使用した材料や術式により費用が異なる場合があります。

※高額療養費支給制度の限度額適用認定証が適用されます。

☆高額療養費支給制度とは

70歳未満の方が医療機関に入院する際、事前手続きを行うと、窓口で支払う医療費を自己負担限度額までにとどめることができる制度です。



利き手を手術された方の食事です



7.手術後の経過

手術終了～包帯がとれるまで (術後数日)

- 手術後は包帯を巻いています。
- ビニールなどでカバーしてシャワー・入浴ができます。



包帯が濡れないようにしてくださいね！



- 鎮痛剤と抗生物質が処方されます。

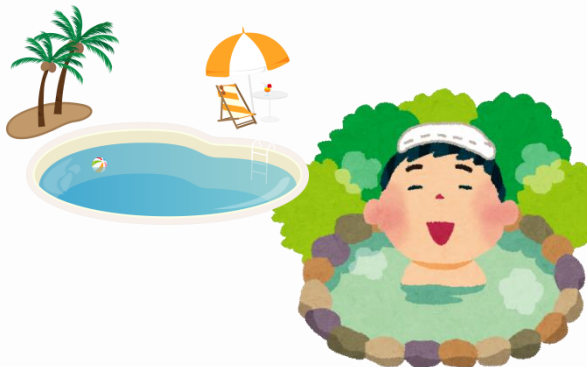
7.手術後の経過 退院後

【清潔に関すること】

包帯がとれてから～抜糸まで （術後約2週間）



- 創部にサージカルテープを貼付して生活して下さい。
(テープは2～3日に1度は交換します)
- 毎日1回、泡立てた石鹸で創部を洗って下さい。
- 流水（シャワーなど）はきれいですが、溜め水(バスタブ、桶に張った水など)は不潔ですので創部をいれないで下さい。
- 温泉、プール、ジャグジーなどは禁止です。



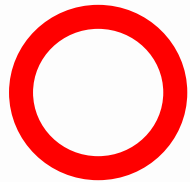
※抜糸後は、清潔に関する制限は特にありません。

7.手術後の経過

【活動について】

- ・手術後は動かすことに制限はなく、よく動かしていただきます。書字や箸動作は痛みに合わせて使用して下さい。
- ・重い物を持つ、スポーツなどの動作は、術後1ヶ月以降から痛みに合わせて開始して下さい。

術後約1ヶ月以降から
痛みに合わせて開始しましょう



痛みに合わせて行いましょう



8.手のリハビリについて

- ・リハビリは手術後、初回処置日から開始となります。
初回処置のあとに、約30分～60分程度、リハビリの説明や装具の作製を行います。

リハビリの回数

	一般的な回数
術後～術後1.5ヶ月	1～2週に1回
術後1.5ヶ月～3ヶ月	月に2～3回
術後3ヶ月～5ヶ月	月に1～2回

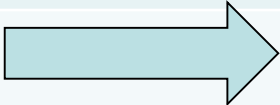
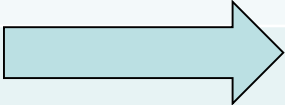
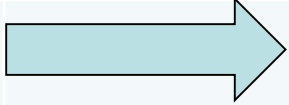
※回数はあくまで目安です。

リハビリで作製する夜間装具



**術後2～3ヶ月
夜間は装具を装着します**

術後日常生活の注意事項

	手術後 ～包帯がとれるまで	包帯がとれてから ～抜糸	抜糸以降
手洗い	控えてください (濡らさない)	可能です 毎日手洗い要	可能です
シャワー	可能です (濡らさない)	可能です	
入浴 (自宅)	可能です (濡らさない)	可能ですが手を湯船に入れない	制限はありません
温泉やプール	控えてください	控えてください	制限はありません
旅行	控えてください	小旅行は可能	制限はありません
運動	控えてください	術式によって異なります。 医師にご相談ください	
飲酒	控えてください	制限はありません	
自転車	控えてください	術式によって異なります。 医師にご相談ください	

9.術後に起こりうる症状について

腫脹や浮腫

術後1～2週間はキズの炎症により、赤く熱っぽい腫れがみられます。徐々に赤みや熱は引いていきますが、浮腫み（むくみ）は残りやすく、3～6ヶ月かけて軽減します。できるだけ早く腫れを引かせるために、手術後は**高挙手（手を心臓より高く挙げる）**や、**アイシング（冷やすこと）**を積極的に行ってください。

術後のしびれ

手術中の操作によって、術後3～6ヶ月しびれることがあります。時間が経つにつれて徐々に消えていきます。

9.術後に起こりうる症状について

手のこわばりや動かしにくさ

手術後は炎症が起こり腫れるため、一時的に指が動かしにくい、朝は硬くなって動かしにくいということがよくあります。むくみが軽減してくると徐々に改善してきますが、術後3ヶ月以上はみられます。

手の使いにくさ

手術後から、装具を装着して軽作業は行っても構いませんが、力が入りづらかったり、少しの動きで痛みを伴ったりする事があり、うまく使えません。時間とともに徐々に使い方に慣れていきますが、手術直後から今まで通りにすぐに使い始めることは難しいです。



**！ 家事などに関しては、ご家族にサポートをお願いしたり
道具など事前の準備をしておきましょう！！**

10.手術によって期待される効果と限界



➤ 効果

伸びづらかった指の動きの範囲が拡大します。



➤ 限界

可能な限り腱膜を切除して指を伸ばしますが、手術前の指の状態がとても曲がっている場合は、皮膚の移植が必要であったり、完全に伸ばすことは困難な場合があります。